

フランチャイズ拡大に力

室蘭・住まいのウチイケ

新築・リフォームの住

まいのウチイケ（室蘭市八丁平、内池秀光代表取締役社長）の経営計画説明会が、室蘭市宮の森町の蓬峯殿で開かれ、内池社長は「さらに地域ナンバーワンを目指す」と省エネルギー住宅について、フランチャイズ事業の開始を紹介した。

同社の取引業者ら約80人が参加。内池社長は、2018年度（平成30年度）の売上高をみると、苫小牧支店が前年度比5倍となるなど、建築事業だけで初めて10億円を達成したことを明らかにした。公共事業は、室蘭市の市営住宅や科学館・図書館建設事業に参画し「今後も地域のシンボリックな施設の建設に取り組んでいきたい」と事業の柱に

育てる考えを述べた。

18年度の建築確認申請の棟数が西胆振で1位（36棟）を獲得したほか、苫小牧事務所の開設、施工業者向けにスマートフォンのメッセージアプリを使った工事管理システム導入などを説明した。

優れた省エネルギー性能の住宅を表彰する「エナジー・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」で悲願の大賞を受賞。内池社長は「日本一の省エネ住宅を全国に広めたい」と述べ、「エコハウスゼロ」などの住宅商品について施工や設計ノウハウ、暖房費計算といったサービスを加盟店に提供するフランチャイズ事業「ホームウチイケ」の拡大に意欲を示した。

（菅原啓）



2019年度の経営計画を説明する
住まいのウチイケ・内池社長